

第12回 アジア大都市感染症対策プロジェクト会議 (ソウル会議) の開催結果について

1 概要

感染症に係るアジア大都市間の具体的かつ迅速な情報共有体制の構築を目指し、各都市持ち回りでプロジェクト会議を開催しています。今年度は、ソウル（大韓民国）で開催されました。

保健医療の専門家による感染症対策に関する報告・意見交換を行うことにより、実践的な対策・対応のノウハウを共有しました。

2 期間

平成28年6月7日（火）から6月9日（木）3日間

3 参加都市

ソウル特別市、台北市、バンコク都、マニラ首都圏、デリー準州、東京都特別ゲストとして、北京、上海、香港、ニューヨーク市
延べ500名程度参加（ソウル市内保健所職員・医療関係者等含む）

4 場所

プラザホテル（The Plaza 1 Hotel）The Grandball room
（所在地: 119 Sogong-ro, Jung-gu, Seoul）



<各都市代表による集合写真>

5 会議の経過

日 程	内 容
6/7（火）	<p>【開会式】 ①開会挨拶と特別講演 (Won-soon Park ソウル市長) 「2015年におけるソウル市のMERS（中東呼吸器症候群）対応についての特別講演」</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>MERS発生時に市民へ健康と安全が最も優先されることを強調。また、アジア都市間連携の支援と感染症対策のための公衆衛生機能の向上（MERSの経験について詳細に文書化、公立病院の予算を増加、感染症の負担を軽減するための包括的な計画策定）のための対応についても説明</p> </div> </div>

②基調講演：ニューヨーク市における新興感染症
(Jay Varma 氏 ニューヨーク市保健局)



2013年にMSM（男性間性交渉者）の間で発生した髄膜炎菌性髄膜炎、2014年のエボラ出血熱、2015年にニューヨーク市の貧困街で発生したレジオネラ症についてのニューヨーク市が実際に対応した事例の紹介

【セッション1 新興・再興感染症の現状と対応】

- ソウルと香港から MERS や SARS（重症急性呼吸器症候群）などの新興感染症に対する経験を紹介
- 北京と上海から新興感染症への備えを強化するための対応について紹介

演 題

- ①ソウルにおける MERS アウトブレイクへの対応（ソウル）
- ②北京における MERS への予防策（北京）
- ③SARS から MERS への対応（香港）
- ④上海における新興感染症への対策（上海）



【セッション2 蚊媒介感染症の現状と対応】

- 韓国 CDC から韓国内におけるジカ熱への対応戦略について報告
- ソウル、バンコク、デリー、マニラから各都市での蚊の生態、蚊媒介感染症と対応戦略についての紹介

演 題

- ①韓国内におけるジカウイルス感染症への対応戦略について報告（ソウル）
- ②ジカウイルス感染症への対応（バンコク）
- ③マニラにおける蚊媒介感染症への対策（マニラ）
- ④蚊媒介感染症におけるサーベイランスシステム（ソウル）



6/8（水）

【セッション3 結核の現状と対応】

- ソウル、台北、東京から各都市の結核の疫学的な対応状況について発表
- 韓国の結核研究所から国レベルでの結核対応戦略と計画を紹介

演 題

- ①高齢者における結核感染の現状（ソウル）
- ②台北における結核予防と治療について（台北）
- ③韓国における結核治療と予防策（ソウル）
- ④ソウルにおけるホームレス結核患者調査の結果と将来への展望（ソウル）



【セッション4 HIV/エイズの現状と対応】

○ソウル、台北、東京から HIV/エイズの動向と医療等の進歩や対応戦略についての紹介

演題

- ①HIV/エイズ患者における梅毒（ソウル）
- ②台北における HIV/エイズへの対応（台北）
- ③東京における HIV/エイズの現状と対策（東京）
- ④共同調査研究（外国人への HIV/エイズ調査） 概要報告（東京）



【セッション5 感染症法と感染症に関わる組織】

○ソウル、東京、香港から感染症関連法と組織構造や管理体制、感染症対策にかかる歴史的背景と重要な方針を紹介

演題

- ①ソウルにおける感染症関連法令と関係機関（ソウル）
- ②日本の感染症関連法と東京都における関係機関（東京）
- ③香港における感染症管理の体制（組織体制と法令）（香港）



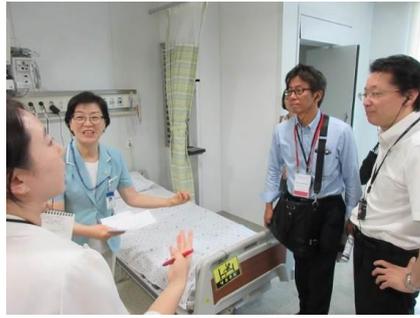
6/9（木）

【視察】

ソウル市医療センター（所在地：156 Sinnae-ro, Jungnang-gu, Seoul）

ソウル特別市の14の市立病院の1つ。1977年に開設され、低所得層を含む一般市民に対して医療安全網の役割を果たしている。新型インフルエンザの地域拠点病院、無料診療奉仕団、老人歯科移動診療団などを運営している。

2015年のMERS発生の際には、感染症指定医療機関に指定され、対応した。



ソンパ区保健所（所在地： 326 Olympic-ro, Songpa-gu, Seoul）

ソウル特別市ソンパ地区住民の健康を管理する公共保健医療機関。所管地域の人口は約 66 万人。111 名（平成 28 年 6 月 9 日時点）の職員のうち約 7 割が医療技術職。組織構成は、保健衛生課、健康推進課、医薬課の 3 課体制。

